

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）カナガワダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ウラガミゼミナール
神奈川大学	経済学部	浦上ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ウラガミゼミシールン	フリガナ）フジモトサトミ	7	無
浦上ゼミC班	藤元さとみ		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
パワーポイント、マイク、PC

研究テーマ（発表タイトル）
急成長するカーシェア市場～利用者拡大のために～

※必ずく企画シート作成上の注意を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在、急成長するカーシェアリング市場を研究し、今後さらなる市場発展、利用者を拡大するための提案を行う。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

カーシェアリングは1980年代にスイスで生まれた考え方である。公共交通機関が発達した都心で車の所有が難しいことから、郊外で車をシェアし始めたことが始まりである。日本でカーシェアリングが実施されたのは、1999年に経済産業省が実証実験を行った後である。2006年には規制緩和が実施され、特区申請なし、無人管理での有償カーシェアリングを運営できるようになった。日本の都心部は公共交通機関が発達しており、人口も多いことから、カーシェアリングが発展する可能性を持つマーケティングであると考えられる。また、環境への配慮や関心が高まる時代の流れと相俟って、カーシェアリングはこれからの日本でますます発展していく可能性があると考えられる。

3. 研究テーマの課題

利用者を増やすためにカーシェアリング自体の認知度を高める必要がある。
市場拡大、サービス向上の為にどのようなカーシェアリングを確保するか。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

公的組織、スーパー、マンションの駐車場を使用する。
ホテル、旅館等宿泊施設の駐車場に観光客向けのカーシェアリングを設置。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

カーシェア市場の発展、利用者拡大の提案を行うため、現在カーシェア事業のシェア率、上位3社のマーケティングを調べた。その後駐車場の数・車両台数での3社比較を行い、なぜタイムズカープラスのみが黒字を出すことに成功したのか考えた。そして、市場の更なる発展、利用者拡大に向けた提案を行った。

6. 結果や今後の取り組み

話し合いを進めた結果、今までと同じスピードでは成長しないという結果になった。タイムズカープラス、カレコ、オリックスの3社が寡占状態にあること、カーシェアリングの普及に適しているとされる首都圏では普及がかなり進んでいることから導いた結果である。しかしながら、カーシェア事業はこの先需要が伸びていくと言われている事業であるため、需要はあるのに供給は行われないという問題が生じるのではないかと、そして今後の課題になっていくと考えた。この課題を少しでも解決し、市場として成長していくには、認知度を上げるための策を練ったり、公共組織の駐車場、スーパー、マンションの駐車場を使用してカーシェアリングを行ったりしていくなどの策が必要であると考えた。

7. 参考文献

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

三井不動産リアルティ <http://www.mf-realty.jp/corp/index.html>

パーク24株式会社 <http://www.park24.co.jp/company/index.html>

O R I X 投資情報 <http://www.orix.co.jp/grp/ir/>

地図から探すカーシェアリングのタイムズカープラス

<http://plus.timescar.jp/view/station/municipality.jsp?prefecCd=14>

わが国のカーシェアリング http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare_grapj2016.3html

カーシェアの長時間 http://www.car-share.net/h_rentcar.html

ニュースリリース http://corp.mf-realty.jp/news/2012/2013026_01.html

<http://www.fps.chuo-u.ac.jp/~ytanzawa/database/07th/graduation/>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

さい。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください